

# 保護者向け 児童発達支援評価表 集計結果（公表）

公表：平成 30 年 3 月 30 日

事業所名 発達支援センターコスモス 利用児数 10名 回収 8名 (80%)

実施期間 平成 29 年 12 月 18 日 ~ 平成 30 年 1 月 13 日

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	8				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1		1	朝は子どもが来る時間 が重なるので大変そう だと感じます
	3	生活空間は、本人にわかりやすいよう構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1			自分の子は色々と判断 するのが難しいと思う
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8				
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	2		1	何を持って固定化とい うのでしょうか？固定 化はいけないという考 えでしょうか？
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	8				
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1		2	何を指すのかが分かり ません

	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	1			
	14	定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	1	2	参加していないので…。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1			
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1			
	18	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1			
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	2			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3		1	4	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5		1	2	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	1		・朝からテンションが高く、すごく楽しみにしています。 ・あまり行けてないので
	23	事業所の支援に満足しているか	8				

# 保護者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果（公表）

公表：平成30年 3月 30日

事業所名 発達支援センターコスモス 利用児数 11名 回収 8名（72.7%）

実施期間 平成29年12月18日 ～ 平成30年1月13日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	8			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8			
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	3		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	6	2		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	2		
	13	定期的にホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		
	14	個人情報に十分注意しているか	7	1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2		

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	8			
	18	事業所の支援に満足しているか	8			

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 3月 30日

事業所名 発達支援センターコスモス（児童発達支援）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく甲謳歌された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		構造化はされていないが、バリアフリーになっている。構造化はしていないが子どもたちの成長発達に見合っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	5	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	4	その日についての職員から様子を聞き、その都度対処するようにしている。勉強会にて個々の課題としている。	少数にしか広まっていない。ケース会議が必要。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	3		すべてを把握していない。改善につなげていない。アンケートは実施済み。未だ全職員に周知されていないため、業務改善にはつながっていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	1	5		結果、集計を知らないので改善につながりにくい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務課前につなげている	0	6		
	9	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している	5	1	研修の報告を聞き、共有している。	OJTが中心であるため、Off・JTもどんどん取り入れたらいいと思う。
供	適切な支援の提	10	5	1	アセスメントシートに記入していただいたうえで面談し、児童の様子を詳しく聞いている。	日常の関わりから見立てを行っている。

	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	マトリクス表を使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	2	発達支援、家族支援は計画に入れている。	関わり分析をを元に支援内容を考えている。来年度に向けて検討中
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	気になった時は再度見直したりしている。変更等は申し送りノートで共有している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	4	チームではなく担当制で行っている。	みんなが参加するようにする機会を設ける。チームで行っていない。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	いい意味で固定化は必要だと思う。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1	コスモスでの個別、小集団活動となっている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	必ずではないが、連絡ノート等を利用している。	勤務時間が一定ではないのでできない。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4	2	日誌や申し送りノートに記載し、共有している。問題点等は上司に報告している。その日の気づきを伝えている。	時々忘れてしまうことがあるので気を付ける。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	日誌の記入による。毎日記録をとり、何かあったら話し合っている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	5	1		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4		
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、	2	4		こども園との連携のみ。保護者が中心となり、行っている。事業所と直接連携はない。

	保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医と連絡体制を整えている	2	4		こども園との連携のみ。
25	移行支援として、保育所や認定子ども園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有相互理解を図っている	4	2	小さな森こども園との間では行っている。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有相互理解を図っている	3	3	必要(要請)があれば行っている。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		研修先で会うことはありますが連携はないです。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	0	小さな森こども園と行っている。	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	ファイルにて日々行っている。保護者にはファイルで情報を共有し、日誌にはその日の状態を記載し、職員で共有している。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	コスモスと家庭で並行して行うことで効果が出るのでお願いしている。	取り入れている。
32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	利用開始時に行っている。	管理者以外にも職員全員が把握する必要がある。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から指導発達支援計画の同意を得ている	4	2		自分は携わっていないが行われている。来年度導入検討中。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	モニタリングの機会の他、保護者から相談を受けたときは送迎時に話をしたり、連絡ファイルにて記載している。不明なとき	

				は上司に確認している。9月と3月の個人面談。		
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	北心祭ではお手伝いして頂いている。コスモスだよりでサークルクレヨンの紹介をしている。	ほとんど活動無し	
36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1	上司に報告し、時間を調整し、話し合っている。申し入れがあればその都度対応している。		
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している	5	1	コスモスだよりを月に一度配布している。保護者だけでなく関係事業所、学校等にも発送している。		
38	個人情報に十分注意している	6	0	カギをつけた棚に保管し、持ち出し禁止としている。		
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	朝夕のお迎え時に話をしたり連絡ファイルにて伝達している。		
40	事業帆の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	法人として行っている。	コスモス独自ではほぼなし。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	3		マニュアル未作成なので早急に作成する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3	こども園と合同で行っている。	コスモス独自でも行う必要がある。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	4	2	薬(てんかん)の変更などは連絡ノート等に記載し、共有している。観察記録にも記載している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2		アレルギーの子がいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	申し送りノートにて記載し、職員で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	4	各研修で一通り勉強している。常に意識はしている。	虐待の研修を行う。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	そもそも身体拘束はしていない	



# 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 30年 3月 30日

事業所名 発達支援センターコスモス（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	0	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	6	0	0		歩行がスムーズにできない子どもいるので手すりがあった方が良い
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	0	6	0		なかなか時間が取れずできていない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケートを実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	5	0		すべてを把握していないので改善につなげていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務課前につなげている	0	0	6		
	8	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している	1	3	2	研修で学んだことをレポートや報告会で伝えることで情報を共有する。	OJTが中心となっているのでOff・JTも取り入れるべき。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	1		日常の関わりから見立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3	0		私用していないがマトリクス表を用いている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	2	デイリープログラムを貼り出し、それに沿って行っている。	チームではなく担当制。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	0	月～土曜まで日替わりで子どもの活動を行っている。	いい意味で固定化は必要。意見は出し合うも、行動するのは一部の職員だけ。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定している	6	0	0	利用時間が長い休日、短い平日と分けて活動して	

					いる。デイリープログラムに沿って行っている。 飽きないように課題を与えたりしている。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	その子に応じた活動を組んでいる・	
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	1	重要なことは申し送りのノートに記載し、全員で把握している。	職員の勤務時間が一定ではないため難しい。打ち合わせをしても忘れてしまうことがある
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	2	3	1	日誌に記載したり、申し送りノートにて記載している	職員の勤務時間が一定ではないため難しい。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	日誌に記入による。毎日記録をとっている。観察記録に記入している。	
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	2	2		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせた支援を行っている	2	2	2		まだ取り入れていない。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	4	1	1	児発管、管理者が参画している。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）を適切に行っている	4	2	0	学校から予定表をいただいている。遅れそうときなどは電話連絡をしている。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えている	2	0	4	保護者に連絡している。	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1	同一事業所の場合は行っている。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	1	移行支援会議に児発管が行っている	
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助	2	2	2		

関係機関や保護者との連携

		言や研修を受けている					
	26	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	0	同一法人の学童保育と行事ごとの交流をしている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	2	管理者が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0	連絡ファイルや送迎時に伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	2		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	1	利用開始時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3	0	上司に相談し、アドバイスをもらっている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情処理の解決窓口がある。日常では直接口頭でお話していただいたりファイルに書いていただいているので、都度対応している。上司に報告し、職員間で共有し、対応も統一している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している	5	1	0	毎月のコスモスだよりの発行。関係機関等にも発送している。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	カギをかけて保管している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	ことば遣いに気をつけている。	
	37	事業帆の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	0	コスモス単独ではなく法人全体で行っている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	1	事務室に掲示している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2	3		コスモス独自で行う必要がある。

40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3	2		研修の機会を増やす
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2	1		
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	0	現在アレルギーの子がいない。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	0	申し送りのノートにて情報共有している	